

(3)専門科目(畜産学科)

科目名	家畜栄養	開講時期	1年生前期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:長尾	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)家畜の飼料の消化・吸収の仕組みの理解 (2)飼料の種類と特性の学修 (3)飼養標準に基づく給与飼料の設計計算の学修					
身に付ける力	(1)家畜の体の維持、生産性向上に必要な飼料の知識 (2)家畜の体に過不足のない飼料給与量を計算する技術					
到達目標	(1) 家畜の養分の分解・吸収について理解する。 (2) 家畜の体の維持、生産性向上に必要な栄養の量を理解する。 (2) 乳用牛及び肉用牛の飼料給与量を計算し給与プログラムを作成する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	反芻胃のしくみ	2	担当者		
	2	炭水化物の消化・吸収	2			
	3	タンパク質の消化・吸収	2			
	4	脂質、ビタミン等の消化・吸収	2			
	5	粗飼料、濃厚飼料の特性と栄養価	2			
	6	家畜の養分要求量	2			
	7	飼料の給与量の計算、飼料設計	2			
	8	定期考査	1			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	80	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	10	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	家畜育種	開講時期	2年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課：落合	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、牛群の能力向上のための交配計画を作成する (2)家畜の検定や登録の仕組みを理解し、能力評価の方法を理解する					
身に付ける力	牛群の能力の評価と向上に必要な知識					
到達目標	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、後継牛の能力向上を図ることができる。 (2)家畜の能力に応じて選抜・淘汰を行い、交配計画を作成することができる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	遺伝の原理(遺伝子の構造と機能)	2	担当者		
	2	遺伝子の原理(1)	2			
	3	遺伝子の原理(2)	2			
	4	家畜の主要形質の遺伝	2			
	5	家畜の選抜、交配の方法	2			
	6	家畜の能力検定、登録	2			
	7	新しい家畜育種技術	2			
	8	定期考査	1			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	家畜解剖・疾病	開講時期	2年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:長尾、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 牛の解剖学的構造の学修 (2) 伝染病や生産病の症状・原因の学修 (3) 飼養管理方法及び現場で発生する疾病の知識の習得					
身に付ける力	体調を崩した牛を早期に発見し、対処する知識・技術					
到達目標	(1) 家畜の解剖学的な構造を学修し異常を発見できる。 (2) 牛の伝染病や、生産病の症状・原因等を学修し、飼養管理に活かせる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	家畜の健康状態観察のポイントと主な症状、解剖(1)	1	担当者 外部講師		
	2	解剖(2)(骨格、筋肉、臓器、神経他)	1			
	3	生産病(1)	2			
	4	生産病(2)、消毒剤の有効性	2			
	5	中間試験	1			
	6	感染症とは	1			
	7	細菌とウィルス(1)	1			
	8	細菌とウィルス(2)	2			
	9	細菌とウィルス(3)、飼養衛生管理基準	2			
	10	飼養衛生管理基準、動物用医薬品の取扱い	1			
	11	定期考査	1			
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材	テレビ・ドクター4 デーリーマン					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査(中間試験30%)	知・技	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	家畜生理・繁殖(講義)	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	60 時間			
担当者名	畜産課:石川、長尾、農技C研究員	単位数	4 単位			
科目の概要	(1) 牛の人工授精を行うための知識・技術の習得 (2) 人工授精を実践して技術を習得					
身に付ける力	牛の性周期を判断し人工授精を行い受胎させる技術					
到達目標	(1) 牛の人工授精に必要な基礎的な知識を理解し性周期がわかる。 (2) 牛の発情鑑定および人工授精が実践できる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	総論	1	担当者 農技C研究員		
	2	生殖器の形態及び機能	3			
	3	発情におけるホルモンの動態、発情徴候	2			
	4	着床、胎子の発育および妊娠による母体の変化	1			
	5	分娩	1			
	6	繁殖障害	1			
	7	人工授精の理論と方法	2			
	8	まとめ(先端技術	2			
	9	中間考査	1			
	10	生殖器解剖	5			
	11	繁殖生理	13			
	12	精子生理	7			
	13	種付け理	4			
	14	人工授精	16			
	15	期末考査	1			
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	家畜生理・繁殖(演習)	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	60 時間			
担当者名	畜産課:石川、長尾、外部講師	単位数	3 単位			
科目の概要	(1) 牛の人工授精を行うための知識・技術の習得 (2) 人工授精を実践して技術を習得					
身に付ける力	牛の性周期を判断し人工授精を行い受胎させる技術					
到達目標	(1) 牛の人工授精に必要な基礎的な知識を理解し性周期がわかる。 (2) 牛の発情鑑定および人工授精が実践できる。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	家畜の審査	7	担当者 外部講師		
	2	生殖器解剖	4			
	3	精液精子検査方法	8			
	4	発情鑑定	6			
	5	人工授精	35			
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	営農計画(畜産)	開講時期	2年生前期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:太田、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)就農に向けた手順、支援制度や作成等を理解する (2)営農に必要な資金の借入と返済を理解し、営農計画を作成する					
身に付ける力	営農に必要な計画を作成する知識					
到達目標	(1)就農に必要な手続きを理解する (2)就農に必要な書類を作成することができる (3)経営を継続するための計画を作成できる					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	円滑な就農に必要なことと就農までのプロセス	2	担当者 外部講師		
	2	就農に必要な基礎知識(1)	2			
	3	就農に必要な基礎知識(2)	2			
	4	就農に向けた生活設計	2			
	5	就農に向けた営農計画の作成 (構造分析表の作成方)	2			
	6	畜産経営の営農計画作成方法	2			
	7	畜産経営による就農計画作成演習	2			
	8	まとめ(筆記試験を含む)	1			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	70	実技テスト		
	レポート	思・判・表	30	発表・成果物		
	授業・実習態度			研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	環境保全・ふん尿処理	開講時期	1年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:関谷	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)畜産経営を発生源とする環境問題の確認と、関係法令の目的の理解 (2)家畜の排泄物を適切に処理するための基礎知識を学び「資源化」の方法の習得					
身に付ける力	家畜排泄物の関連法令の遵守と適切に処理する技術					
到達目標	(1)畜産環境対策と関係法令の理解 (2)家畜排せつ物の堆肥化に必要な条件に関する知識の習得 (3)家畜排せつ物の堆肥化に必要な資材の量の計算ができる					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	畜産環境対策の現状と問題及び法令	2	担当者		
	2	堆肥化処理(1)	2			
	3	堆肥化処理(2)	2			
	4	堆肥化処理(3)	2			
	5	堆肥化処理(4)	2			
	6	堆肥化発酵処理に関する基礎数値及び計算(1)	2			
	7	堆肥化発酵処理に関する基礎数値及び計算(2)	2			
	8	筆記試験	1			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	GAP演習	開講時期	2年生通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間			
担当者名	畜産課:関谷	単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 畜産における生産工程管理の背景と取り組みの学修 (2) 認証及び継続審査に必要な取り組みに関する学修					
身に付ける力	GAP(農場HACCP)の継続的な取り組みと改善の実践					
到達目標	(1) GAP(農場HACCP)認証の取り組みの理解 (2) 生産工程管理の取り組みの実践					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	飼養衛生管理基準の説明・実践	2	担当者		
	2	GAP(農場HACCP)実践の目的と点検方法	2			
	3	トヨタ「カイゼン」方式の説明・実践	2			
	4	ICT技術を用いた牛群管理方法の実践	2			
	5	各専攻現場における自己点検の実践(1)	2			
	6	各専攻現場における自己点検の実践(2)	2			
	7	各専攻現場における自己点検の実践(3)	2			
	8	各専攻現場における自己点検の実践(4)	2			
	9	各専攻現場における自己点検の実践(5)	2			
	10	次年度への改善提案	2			
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表・態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	畜産飼養管理(講義)	開講時期	1年生 前期			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:落合、関谷	単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 乳用牛及び肉用牛に関する知識や技術を学修 (2) 乳用牛及び肉用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る					
身に付ける力	就農又は就業した際の乳用牛又は肉用牛を飼養管理する知識及び技術					
到達目標	(1) 乳用牛及び肉用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	家畜飼養の基礎知識	1	担当者		
	2	酪農の飼養管理各論				
	3	(1)乳牛の品種と改良	1			
	4	(2)飼養方法と施設・設備	1			
	5	(3)泌乳の生理と搾乳	1			
	6	(4)搾乳牛の飼育管理	1			
	7	(5)乳用子牛・育成牛の飼育管理	1			
	8	(6)牛乳の品質と利用	1			
	9	ロープワークの基礎	1			
	10	体測の意義と方法	1			
	11	肉用牛の飼養管理各論				
	12	(1)肉用牛の品種と改良	1			
	13	(2)飼養方法と施設・作業機械	1			
	14	(3)肉用牛の生理と飼育技術	1			
	15	(4)飼料の種類と給与	1			
	16	(5)肉用牛の衛生と病気	1			
	17	定期考査	1			
テキスト・副教材	「家畜飼養の基礎」 農山漁村文化協会					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技、思・判・表	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	1年畜産飼養管理(演習)(酪農)	開講時期	1年生 前期			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	80 時間			
担当者名	畜産課:落合、長尾、外部講師	単位数	4 単位			
科目の概要	(1) 乳用牛に関する知識や技術を学修 (2) 乳用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る					
身に付ける力	就農又は就業した際の乳用牛を飼養管理する知識及び技術					
到達目標	(1) 乳用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	乳用牛の飼養管理	70	担当者 外部講師		
	2	(1)飼い付け				
	3	(2)搾乳(データ管理含む)				
	4	(3)一般管理(床替え、牛舎洗浄等)				
	5	(4)除角				
	6	(5)放牧地管理				
	7	(6)肉用牛の飼養管理				
	8	農家及び試験研究機関等への視察	5			
	9	(1)家畜市場(子牛、成牛等)				
	10	(2)畜産農家				
	11	(3)農林総合技術センター畜産技術部				
	12	(4)その他				
	13	研修会等への参加	5			
	14	酪農関係研修会				
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技・思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	1年畜産飼養管理(演習)(肉用牛)	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	80 時間			
担当者名	畜産課:関谷、石川、外部講師	単位数	4 単位			
科目の概要	(1) 肉用牛に関する知識や技術を学修 (2) 肉用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る					
身に付ける力	就農又は就業した際の肉用牛を飼養管理する知識及び技術					
到達目標	(1) 肉用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	肉用牛飼養管理	70	担当者 外部講師		
	2	(1)給餌管理				
	3	(2)一般管理(畜舎・牛房内環境整備等)				
	4	(3)除角				
	5	(4)去勢				
	6	(5)鼻環装着				
	7	(6)放牧地管理				
	8	(7)乳用牛の飼養管理				
	9	全共出品に向けた取組				
	10	農家及び試験研究機関等への視察	5			
	11	(1)家畜市場(子牛、成牛等)				
	12	(2)畜産農家				
	13	(3)農林総合技術センター畜産技術部				
	14	(4)その他				
	15	研修会等への参加	5			
	16	肉用牛関係研修会				
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技・思・判・表	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	2年畜産飼養管理(演習)(酪農)	開講時期	1年生 前期			
		授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	120 時間			
担当者名	畜産課:落合、長尾、外部講師	単位数	6 単位			
科目の概要	(1) 乳用牛の関する知識や技術を学修 (2) 乳用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3) 農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取り組みや管理の違いの理解 (4) 県内外で開催される研修会や講習会等に参加し新たな知見を得る					
身に付ける力	就農又は就業した際の乳用牛を飼養管理する知識及び技術					
到達目標	(1) 乳用牛の飼養及び生産管理ができる (2) 県内の先進農家の取り組みや畜産関係機関の役割を知る (3) 研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	乳用牛の飼養管理	110	担当者 外部講師		
	2	(1)飼い付け				
	3	(2)搾乳(データ管理含む)				
	4	(3)一般管理(床替え、牛舎洗浄等)				
	5	(4)除角				
	6	(5)放牧地管理				
	7	(6)肉用牛の飼養管理				
	8	農家及び試験研究機関等への視察	5			
	9	(1)家畜市場(子牛、成牛等)				
	10	(2)畜産農家				
	11	(3)農林総合技術センター畜産技術部				
	12	(4)その他				
	13	研修会等への参加	5			
	14	酪農関係研修会				
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	飼料作物・草地管理(講義)	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	畜産課:落合、農技C研究員	単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 飼料作物栽培の基礎知識の学修 (2) 作業機械を操作し、栽培から収穫・調整までの技術を習得 (3) 放牧草地の永続的な管理の方法を学修し、技術を習得					
身に付ける力	(1) 自給飼料の生産技術 (2) 放牧草地の管理技術					
到達目標	(1) 飼料作物の作付け計画を作成し栽培できる (2) 飼料作物の収穫・調整ができる (3) 草地管理ができる					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	飼料作物の定義、分類・特性	1	担当者 農技C研究員		
	2	飼料作物の作付体系	1			
	3	飼料作物の作業機械	1			
	4	飼料作物の作業体系、生育ステージの判定	1			
	5	施肥量・播種量の計算	1			
	6	雑草防除	1			
	7	サイレージ・乾草の調製技術	1			
	8	飼料用イネ・飼料用米	1			
	9	中間試験	1			
	10	硝酸態窒素	1			
	11	野草利用	1			
	12	シバ草地	1			
	13	飼料作物・草地管理の最新技術	2			
	14	期末試験	1			
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	飼料作物・草地管理(演習)	開講時期	1年生 通年
		授業の形態	演習
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	40 時間
担当者名	畜産課:太田、落合、関谷、農技C研究員	単位数	2 単位
科目の概要	(1) 飼料作物栽培の基礎知識の学修 (2) 作業機械を操作し、栽培から収穫・調整までの技術を習得 (3) 放牧草地の持続的な管理の方法を学修し、技術を習得		
身に付ける力	(1) 自給飼料の生産技術 (2) 放牧草地の管理技術		
到達目標	(1) 飼料作物の作付け計画を作成し栽培できる (2) 飼料作物の収穫・調整ができる (3) 草地管理ができる		
授業計画	授業内容・方法		時間数
	1 飼料作物栽培実習		
	2 (1)種まき(準備を含む)		6
	3 (2)灌水		6
	4 (3)田植え		6
	5 (4)防除		6
	6 (5)収穫・調製・運搬		6
	7 (6)堆肥散布		10
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
担当者 農技C研究員			
テキスト・副教材			
評価方法	評価方法	観点	割合
	定期考査(中間試験30%)	機械運転技術	知・技、思・判断・表
	レポート	発表・成果物	50
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50
	研修評価		

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	飼料作物・草地管理(演習)	開講時期	2年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	20 時間			
担当者名	畜産課:太田、落合、関谷、農技C研究員	単位数	1 単位			
科目の概要	(1) 飼料作物栽培の基礎知識の学修 (2) 作業機械を操作し、栽培から収穫・調整までの技術を習得 (3) 放牧草地の永続的な管理の方法を学修し、技術を習得					
身に付ける力	(1) 自給飼料の生産技術 (2) 放牧草地の管理技術					
到達目標	(1) 飼料作物の作付け計画を作成し栽培できる (2) 飼料作物の収穫・調整ができる (3) 草地管理ができる					
授業計画		授業内容・方法	時間数	講師		
	1	飼料作物栽培実習		担当者 農技C研究員		
	2	(1)堆肥、尿散布	3			
	3	(2)石灰散布	2			
	4	(3)整地、砕土	2			
	5	(4)施肥	2			
	6	(5)耕起	2			
	7	(6)播種	2			
	8	(7)鎮圧	2			
	9	飼料作物調製実習				
	10	(1)刈取り	2			
	11	(2)予乾(攪拌、集草)	1			
	12	(3)梱包	1			
	13	(4)密封	1			
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査(中間試験30%)			機械運転技術	知・技・思・判断・表	50
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	50	研修評価		

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(酪農)	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	実習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	750 時間			
担当者名	畜産課:長尾、落合、農技C研究員	単位数	25 単位			
科目の概要	飼養管理技術や生産性の向上を図ることを目的に、日々の飼養管理を通じて課題を見つけ、対策を計画、実践し、資料にまとめて発表を行う。					
身に付ける力	課題を見つけ、対策を検討し効果の検証を行う技術					
到達目標	(1)生産目標の設定 (2)課題の抽出 (3)対策の検討と検証					
授業計画	授業内容・方法		時間数	講師		
	1	生産プロジェクト課題設定	4	担当者 農技C研究員		
	2	設計書及び中間報告書作成	6			
	3	生産プロジェクト実習	720			
	4	生産プロジェクト取りまとめ	20			
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技、思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	生産プロジェクト実習(肉用牛)	開講時期	1年生通年			
		授業の形態	実習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	750 時間			
担当者名	畜産課:石川、関谷、農技C研究員	単位数	25 単位			
科目の概要	飼養管理技術や生産性の向上を図ることを目的に、日々の飼養管理を通じて課題を見つけ、対策を計画、実践し、資料にまとめて発表を行う。					
身に付ける力	課題を見つけ、対策を検討し効果の検証を行う技術					
到達目標	(1)生産目標の設定 (2)課題の抽出 (3)対策の検討と検証					
授業計画	授業内容・方法		時間数	講師		
	1	生産プロジェクト課題設定	4	担当者 農技C研究員		
	2	設計書及び中間報告書作成	6			
	3	生産プロジェクト実習	720			
	4	生産プロジェクト取りまとめ	20			
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技、思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文(酪農)	開講時期	2年生通年			
		授業の形態	実習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性	時間数	720 時間			
担当者名	畜産課：落合、長尾、農技C研究員	単位数	24 単位			
科目の概要	(1) 経営プロジェクト計画に基づき、新たな技術や改善の必要な課題を抽出し、その対策方法を検討、計画及び実践 (2) 得られた結果を取りまとめて生産性及び経済性を評価し、発表する					
身に付ける力	(1)酪農経営に関する基礎知識・技術 (2)課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)収益性の向上につながる対策を計画し実践する (2)実践した結果の効果を検証し、経済性の評価をする (3)取り組んだ内容を図表等を使って取り纏め、発表する					
授業計画	授業内容・方法		時間数	講師		
	1 経営プロジェクト課題設定		5	担当者 農技C研究員		
	2 試験項目の設定		10			
	3 設計書および中間報告書作成		10			
	4 経営プロジェクト実習		650			
	5 経営プロジェクト取りまとめ		30			
	6 卒業論文の作成		15			
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技、思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文(肉用牛)	開講時期	2年生通年			
		授業の形態	実習			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性	時間数	720 時間			
担当者名	畜産課:関谷、石川、農技C研究員	単位数	24 単位			
科目の概要	(1) 経営プロジェクト計画に基づき、新たな技術や改善の必要な課題を抽出し、その対策方法を検討、計画及び実践 (2) 得られた結果を取りまとめて生産性及び経済性を評価し、発表する					
身に付ける力	(1)肉用牛経営に関する基礎知識・技術 (2)課題設定、栽培計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)収益性の向上につながる対策を計画し実践する (2)実践した結果の効果を検証し、経済性の評価をする (3)取り組んだ内容を図表等を使って取り纏め、発表する					
授業計画	授業内容・方法		時間数	講師		
	1 経営プロジェクト課題設定		5	担当者 農技C研究員		
	2 試験項目の設定		10			
	3 設計書および中間報告書作成		10			
	4 経営プロジェクト実習		650			
	5 経営プロジェクト取りまとめ		30			
	6 卒業論文の作成		15			
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技・思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度